



廿日市市立佐伯中学校 令和8年度

【自律】学校だより

ホームページ [http:// www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/](http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/)

学校教育目標:「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」

9月号(No.13)

令和8年

9月10日(木)

第2学期始業式・表彰・生徒会報告

9月1日(火)、第2学期始業式を行いました。夏休み前に約束した「将来のことについて家族や親せきの方とお話をする」ということはできたでしょうか。いつか自立するときのために、今から準備したいですね。

始業式後には表彰があり、吹奏楽部とアーチェリー部の健闘をたたえました。アーチェリー部の古川詩音さんは静岡県で開催される全国大会に出場します。みんなで応援しましょう。

続いて、生徒会執行委員から全校生徒で折った千羽鶴の献納報告がありました。最後に、生徒指導主事の播本先生のお話の中で、3~4人のグループを作り、お互いの夏休みのことを発表したり質問したりして、楽しく交流しました。生徒の笑顔がたくさん見られました。



吹奏楽部への表彰伝達



生徒会活動報告



夏休みの報告

スクールカウンセラー桐原先生による道徳授業

9月1日(火)、スクールカウンセラーの桐原先生が担任の先生とともに道徳の授業を行いました。「数字探し競争」を楽しんだ後、ストレスとの付き合い方(合言葉は「3つのR」)や、困ったときのSOSの出し方について、それぞれが自分事として学びました。



1年生の様子



2年生の様子



3年生の様子

第2回 キャリア講演会

9月2日(水)本校の教育目標「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」に向けて、広島テレビ放送の気象予報士・キャスターである塚原美緒様をお招きしました。小学生時代の夢や目標、気象予報士を目指したきっかけ、困難の乗り越え方や仕事のやりがいに加え、命を守るための防災知識や台風への備えなど専門的なお話もしていただきました。

塚原さんは、まとめとして次のことを語られました。

- ① 得意かどうかより自分の気持ち
- ② 失敗や挫折の経験も宝物
- ③ 道筋は一つじゃない
- ④ 故郷はいつでも味方でいてくれる場所
- ⑤ 頑張ったことは、たくさんの出会いを運んでくれる



ご講話の様子



生徒代表の謝辞



美術部からのプレゼント

講演後に、塚原さんは「生徒の皆さんの反応の良さに、つつい時間をオーバーしてしまいました。もっと話したいこともあったのに…」と残念がっておられました。また、機会があればお話を聴いてみたいですね。生徒の皆さんが書いた感想を載せます。

- 「“さわやか”という季語が秋の季語だということを初めて知りました。テレビでニュースを見るとき季語を探してみようと思いました。避難するとき、自分のことだけでなく周りの人のことも気に掛けることが大切だということを改めて感じました。空を見て虹を探して“虹発見マスター”になりたいです。」(1年生)
- 「塚原さんの話を聞いて、私は夢や目標に向かって、あきらめず努力することの大切さが分かりました。塚原さんは夢をかなえるため、いろいろなことを乗り越えて、今は夢をかなえることができていることを尊敬しました。私にも今、夢があるので、その夢に向かって塚原さんみたいに、頑張って努力していこうと思いました。」(2年生)
- 「夢をかなえるまでにしてきたことやどんな道を歩んできたか等、色々なことが知ることができ良かったです。お話を聴いていて、話し方がテレビでよく聞く話し方で、すごいなと思いました。塚原さんは、気象予報士になりたいと思ってからずっとその道を進んできたのではない、と聞いてびっくりしました。失敗や挫折、色々な経験をするのが大切だと聞いて、これから色々な経験をするために、色々なことに挑戦していこうと思いました。」(3年生)

